学習課題（小学校４年生）

【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜学習内容＞

◆「思いやりのデザイン」（教科書 48～49 ページ）に取り組みます。

① 教科書 48～49 ページを音読します。

② 「思いやりのデザイン」を読み、それぞれの段落（だんらく）の大切なところを短い文にして、ノートや取組シートにまとめましょう。

※各段落の中で、大事な文を探してみましょう。題名に出てくる言葉や何度も出てくる言葉は大切な言葉です。

【まとめ方の例】

終わり	中		初め		
⑤	④	③	②	①	
				例 インフォグラフィックスは、インフォメーションと、グラフィックスを合わせた言葉で、デザインの一つ。	思いやりのデザイン

③ 二段落と、同じようなことが書かれている段落を探しましょう。

※二段落と同じ言葉が出てくる段落を、探してみましょう。

④ 二つの例を対比してくらべているのは、どの段落か探しましょう。

※「対比」…二つのものをくらべて、ちがいをはっきりさせること。教科書 49 ページの下に説明があります。

◆「カンジーはかせの都道府県の旅１」（教科書 60 ページ）で学習する新出漢字（栃～阜まで）をノートに練習します。

※練習のしかたも工夫してみるとよいですね。

例：① 教科書 153～154 ページを見て、書き順を指で書いてみましょう。
② 読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。
③ 漢字をノートに練習しましょう。
④ 出てきた漢字を使って、文を作ってみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・「思いやりのデザイン」は、筆者の考えを説明する文章です。筆者が読者に伝えるために、『対比』して説明しているのが特徴的です。段落を短い文にする際には、「この段落で大切な文はどこかな。」など、選ばせてみてください。「どの言葉が大事だと思ったの。」と問いかけ、「～と書いてあるから。」など言葉に着目している様子が見られたら、大いに褒めてあげてください。

【社会】

＜学習内容＞

◆「北海道の土地の様子」について、教科書（140～143 ページ）や地図帳、学校で使っているふくどく本などをもとに、取組シートやノート、白地図に取り組もう。

(1)「北海道地方」（地図帳 69～72 ページ）の地図を見て、土地利用の様子について調べ、取組シートやノートに書こう。

①田が多いのはどこかな。（～平野、～盆地など）

②畑が多いのはどこかな。（～平野、～盆地など）

③牧草地が多いのはどこかな。（～平野、～台地など）

※地図帳の使い方(1)（地図帳 16 ページ）にヒントがあるよ。

(2) ①～⑤の市町村の位置は、白地図の中の㋐～㋔のうち、どこでしょう。地図帳 69～70 ページでかくにんして、白地図に書きこもう。

①札幌市（北海道で人口１番が多い市だよ）

②旭川市（北海道で人口が２番目に多い市だよ）

③函館市（北海道で人口が３番目に多い市だよ）

④釧路市（道東の中心都市で、飛び地になっているよ）

⑤音威子府村（北海道で人口が１番少ない村だよ）

※これらの市町村の有名なものを知っていたら書いてみよう。

※さらに、白地図に自分が知っている市町村を加えると、さらにくわしい北海道地図をつくることができます。

※どこにどの市町村があるか、地図帳などを見なくても言えるようになったらすごいです。

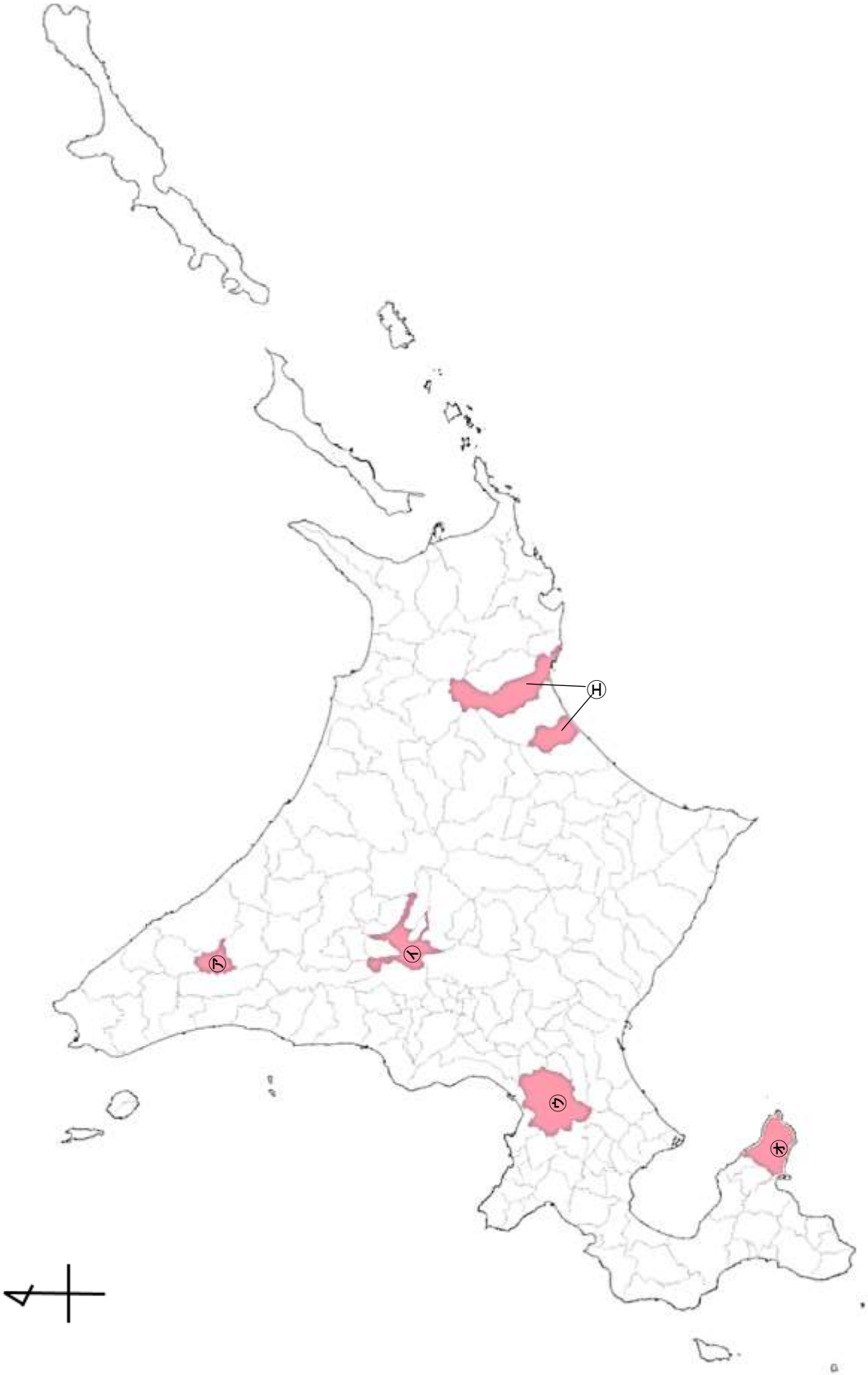
＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆「土地利用・市町村」

・小学校４年生の社会科では、自分たちの住む北海道のことについて学習します。教科書や地図帳に加え、学校で使っている副読本などがあれば、活用して学習を進めるようにしてください。

・行ったことがある市町村などを地図帳で一緒に探すと、興味・関心を高めることができます。可能であれば、親子でクイズ形式にして答え合うと、楽しみながら、北海道の市町村について学ぶことができます。

白地図（北海道地方）　名前



【算数】

「※」は学習するときのヒントです。

＜学習内容＞

◆「大きな数」（教科書 10 ページ～14 ページ）

教科書 10 ページでは、いろいろな国の人たちが行進していますね。

(1)　スイスとエジプトの人口は、それぞれ何人でしょうか。声に出して読んでみましょう。

※一万の位から先は、一、十、百、千のくり返しだったね。

スイスの人口　　【８５４４０００人】

漢字でも書き表せるかな？　下の□の中に書いてみよう。

（※漢字で書き表す例：
アルゼンチンの人口なら　四千四百六十八万九千）

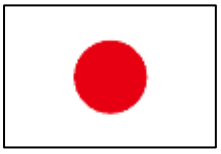
エジプトの人口【９９３７６０００人】

エジプトの人口も漢字で書き表してみよう。
下の□の中に書いてみよう。

千	百	十	一	千	百	十	一	
			万					
	8	5	4	4	0	0	0	人
9	9	3	7	6	0	0	0	人

※３年生では、８けたの数まで学習したね！

(2)　日本の人口は何人でしょうか。



日本の人口【１２７１８５０００人】

あれ？　日本の人口は９けたの数だよ。千万の位よりも大きい位の数は、どのように読めばいいのかな？

はてな？

千万の位までは、一、十、百、千と繰り返す数のしくみでした。千万の位より大きい数は、どんな数のしくみやよみ方、表し方でしょうか。

・**千万の 10 倍の数は一億（いちおく）といい、100000000 と書きます。**千万の位の１つ上の位を、一億（いちおく）の位といいます。
・一億（いちおく）の 10 倍の数を十億、十億の 10 倍の数を百億、百億の 10 倍の数を千億といいます。
・**千億の 10 倍の数を一兆（いっちょう）といい、1000000000000 と書きます。**一兆（いっちょう）の 10 倍の数を十兆、十兆の 10 倍の数を百兆、百兆の 10 倍の数を千兆といいます。

学校が始まったら　みんなと勉強するから安心してね！

(3)　下の表の空いているところに、位の数の続きや数字を予想して書いてみましょう。

								一	千	百	十	一	千	百	十	一	
				兆				億				万					
一億								1	0	0	0	0	0	0	0	0	10倍
十億																	10倍
百億																	10倍
千億																	10倍
一兆																	10倍
十兆																	10倍
百兆																	10倍
千兆																	

(4)　千万の位より大きい数は、どのようなしくみになっているか、下の□の中に書いて説明しましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆大きな数（教科書 P10～P14）

・子どもが、＜はてな？＞にある学習のめあてを意識して、自分の考えをもって取り組むことが大切になります。「億や兆より大きい数が、きっとあるはずだ。」などと、大きな数のしくみに気付き、考える姿が見られましたら、褒めてあげてください。大きな数を学ぶ意欲につながります。

【理科】

＜学習内容＞

◆ 教科書 35 ページの問題（くもりや雨の日の気温は、１日のなかで、どのように変わるのだろうか。）について、調べましょう。

○１日の気温の変わり方について、１日の中で何回か気温をはかり、天気と気温を取組シートやノートに書きましょう。
※先週の学習課題を思い出して取り組みましょう。
※天気と気温を表や折れ線グラフに書けるかな。
インターネット上にある、算数「まなびリンク『折れ線グラフツール』」で、折れ線グラフをつくることもできます。（算数の教科書 P４に、QR コード・HP アドレスがついています。）
※気温は、どのように変わったかな。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】
NHK for School「くもりの日の気温は…」
https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301752_00000&p=box

NHK for School「雨の日の気温は…」
https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301753_00000&p=box

◆天気によって１日の気温の変わり方にはどのようなちがいがあるかを考えましょう。
○晴れの日、くもりの日、雨の日をくらべて、気温の変わり方を、取組シートやノートに書きましょう。
※１日のなかで気温が高いときと低いときは、いつかな。
※天気によって、気温の変わり方にちがいはあるかな。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】
NHK for School「晴れの日の太陽の動きと気温は…」
https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301751_00000&p=box

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。
・この学習では、気温の変わり方と天気との関係に気付くことを大切にしています。
・「気温はどのように変わっているかな」「晴れの日とくもりや雨の日を比べるとどうかな」など、気温の変化と天気の関係に気付くよう声をかけてあげてください。
・気温をはかれない場合は、インターネット等で見られる気温を活用することができます。

【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。道具を使う時は、かたい物や割れる物は使わず、安全に行いましょう。

＜学習内容＞

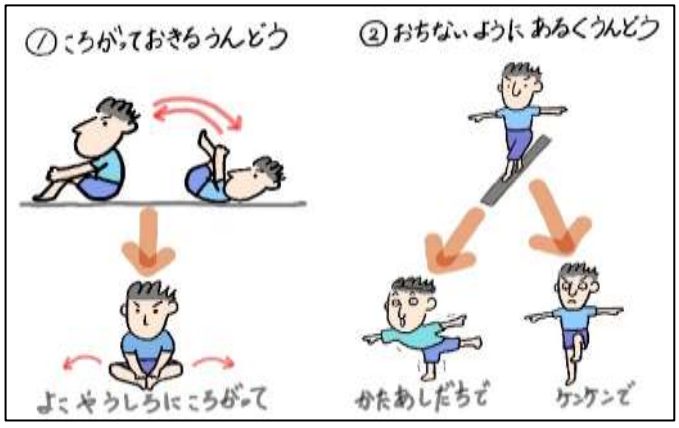
※動画を見られる場合は、右の QR コードを使ってください。

◆「体のバランスをとる運動」に取り組みましょう。

(1) ①の「転がって起き上がる運動」と②の「新聞紙などの上を落ちないように歩く運動」にチャレンジしてみましょう。

(2) 姿勢を変えてチャレンジしてみましょう。

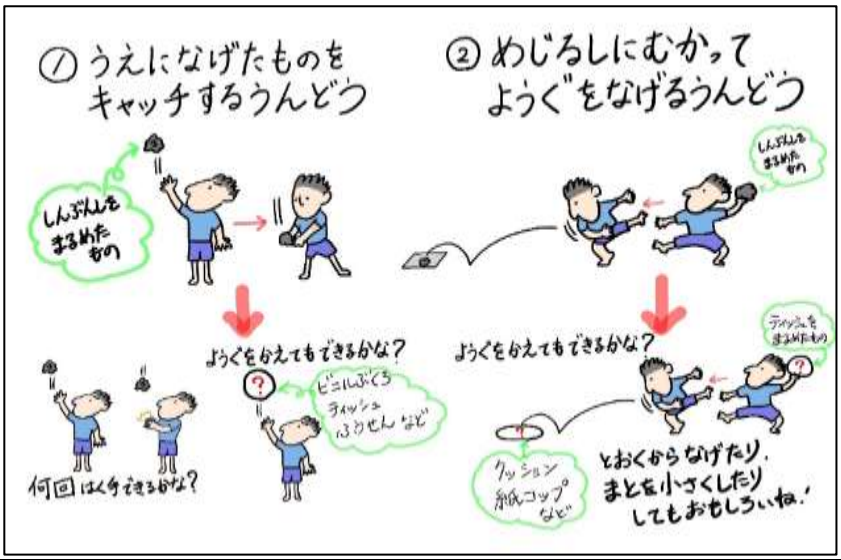
(3) ほかの姿勢も考えて、チャレンジしてみましょう。



◆「用具を操作する運動」に取り組みましょう。

(1) ①の「上に投げたものをキャッチする運動」と、②の「目印に向かって用具をなげる運動」にチャレンジしてみましょう。

(2) 使う用具をかえり、いろいろな動きを加えたりして工夫してみましょう。

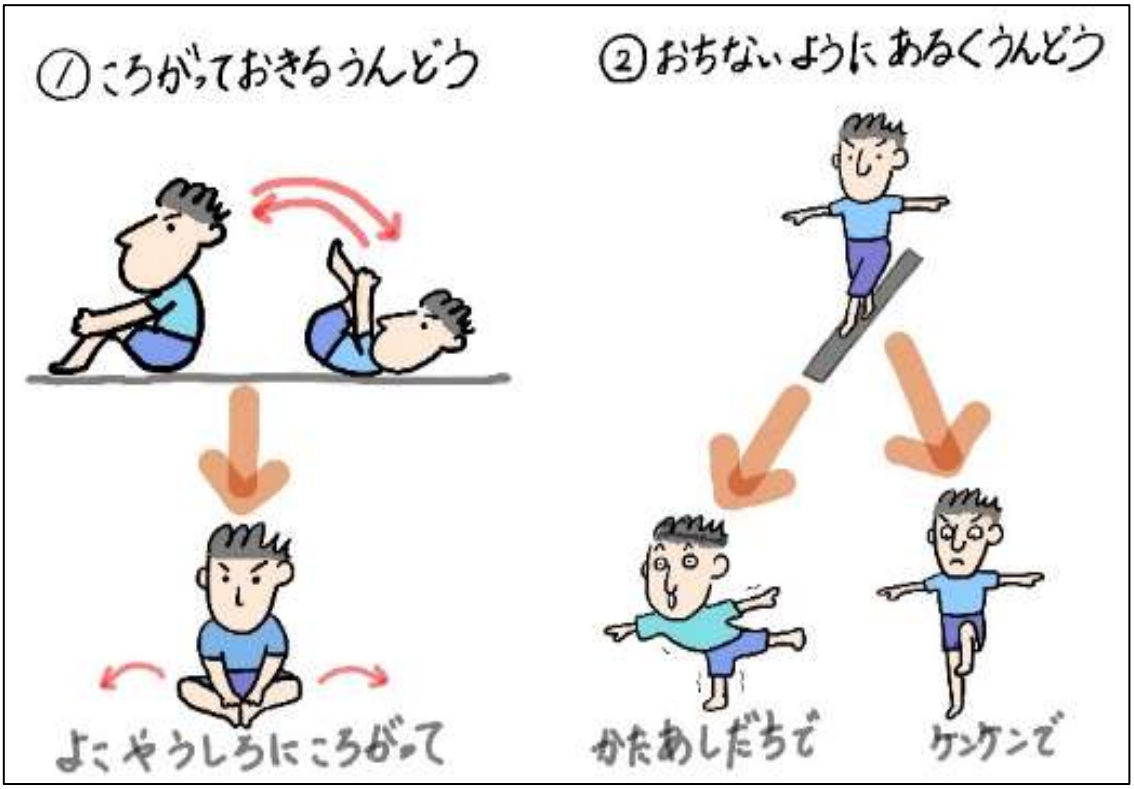


＜保護者による関わり方のポイント＞　※可能な範囲でお願いします。

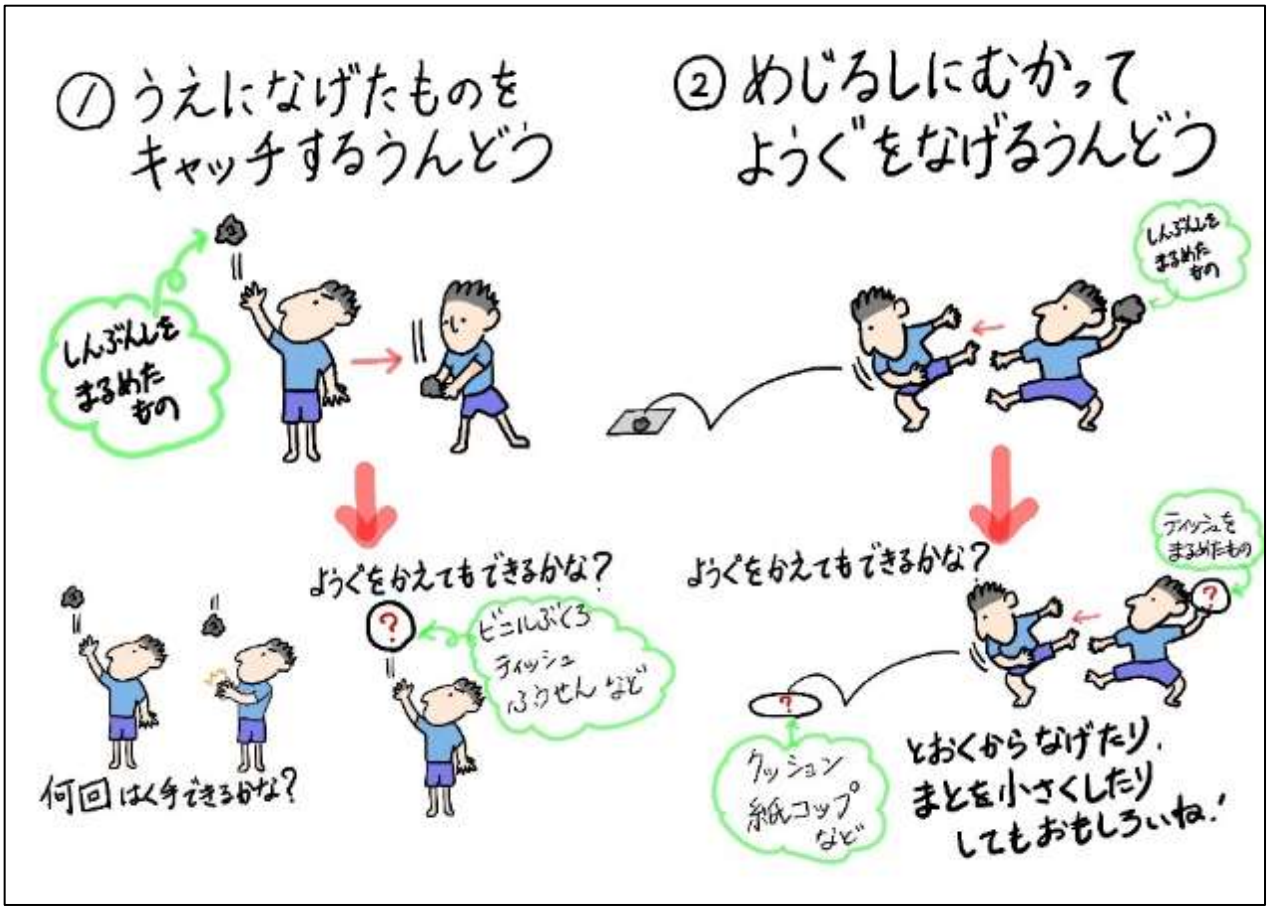
・体つくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。

・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。

「体のバランスをとる運動（うんどう）」



「用具をそうさする運動（うんどう）」



パソコンなどで見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

【音楽】

＜勉強すること＞

◆歌詞の表す様子を思いうかべながら、『さくら さくら』を歌いましょう。（教科書８～９ページ）

(1)　８ページの歌詞を声に出して読みましょう。難しい言葉は調べたり、９ページの解説を読んだりして、歌詞の言葉が表す桜の花の様子を思いうかべましょう。

＜ヒント：桜の花の色は何色かな？何本くらい木があるかな？など＞

(2) 思いうかべた桜の様子を想像しながら、『さくら さくら』を聴いたり、口ずさんだりしましょう。

(3) 『さくら さくら』を何度も聴いたり、口ずさんだりして、この曲がどんな感じの曲かを言葉や文章で表してみましょう。

※例：元気よく、うきうきする感じの曲
明るくはなやかな感じの曲　など

(4) 『さくら さくら』のメロディーは、「こと」という楽器で演奏されています。『こと独奏による主題と６つの変奏「さくら」』を聴いて、『さくら さくら』と比べてみましょう。
※ 教科書 57 ページを見てみましょう。

(5) 教科書等の桜の写真を眺めながら、この曲にぴったり合う歌声を考えて、歌ってみましょう。

※いろいろな歌声の例：
元気で明るい歌声　やさしく、きれいな歌声
自分の１番元気な歌声　　など

〈保護者による関わり方のポイント〉※可能な範囲でお願いします。

・『さくら さくら』は、歌詞の表す情景を思い浮かべながら歌うことを大切にしています。ぜひ、一緒に桜の花の写真や動画を見ながら、楽しんで一緒に歌ってみてください。
・『さくら さくら』は、教科書 P56～59 の「日本の楽器に親しみましょう」につながる学習です。日本らしさを感じる音階や楽器の音色に親しめるように、何度も歌ったり、聴いたりしてください。